

平成28年(ワ)第12785, 17680, 28219号 損害賠償等請求事件

平成28年(ワ)第32358号 損害賠償等請求事件

原 告 部落解放同盟 外248名

被 告 示現舎合同会社 外2名

証拠説明書

平成30年2月27日

東京地方裁判所民事第13部合 B 係 御中

被 告 示現舎合同会社
上記代表者代表社員 宮 部 龍 彦
被 告 宮 部 龍 彦
被 告 三 品 純

号 証	標 目	原本/写 し	作成年月日	作 成 者	立証趣旨
乙239	衆議院会議録情報 第082回 国会 内閣委員会 第5号	写し	S52.11.15	衆議院	同和地区 精密調査 報告書(乙 238)が 部落地名 総鑑事件 の後に急 に秘密の ものと認 識された こと
乙240	同和対策審議会答申(附属書類 全文) 昭和40年8月11日	写し	S40.8.11	同和対策審 議会	昭和37, 38年の 同和地区

					精密調査が公になっていること
乙241	「全国部落調査」流出と日本社会事業大学図書館	写し	H29.9	原告近藤登志一	全国部落調査が社会事業大学にあり、原告近藤登志一が同図書館に圧力をかけたこと
乙242	移動経験と被差別アイデンティティの変容	写し	H18.5.31	桜井厚	解放同盟東京都連に税金対策で加入した業者、部落と無関係な者が多数いること
乙243	屠場労働は「残酷」と事件は広告業界全体の課題だ 差別CM 第2回糾弾会	写し	H28.5.16	解放新聞社	肉屋は部落といったステレ
乙244	誰ひとり差別性指摘せず 差別CM 事件第3回確認会で明らかに	写し	H28.2.15	解放新聞社	オタイプに解放同盟が便乗していること
乙245	【視点】日本の被差別民——隠れた階級制度	写し	H27.11.27	BBC	原告近藤登志一が取材に応じた海外メディア

					の記事で暴力団に部落民が多いかのような報道がされていること
乙246	部落問題セミナー1 部落問題	写し	S39.5.15	部落問題研究所	部落を隠すこと、卑
乙247	性の隠喰、その拒絶	写し	H8.3.1	桂秀実	下することが丑松根性として非難されたこと。
乙248	部落探訪(51) 特別編大阪府 大阪市浪速区浪速東・浪速西・ 大国町(前編)	写し	H29.12.4	被告宮部	大阪市が同和事業を止めた
乙249	部落探訪(58) 大阪府大阪市 淀川区加島一丁目	写し	H30.2.16	被告宮部	途端に同和地区に住宅が建てられ売れていること
乙250	崇仁地区解放と土地買収の経過	写し	H4.12	前田知克	解放同盟が同和地区の線引撤廃に反対して土地売買の障害になったこと
乙251	元禄国絵図__摂津	写し	元禄9-15	江戸幕府	現在は忘
乙252	天保国絵図__摂津	写し	天保6-9	江戸幕府	れ去られた部落があること

乙253	原告_傍聴者・怒りの声 _ 「全国部落調査」復刻版 出版差し止め事件裁判	写し	H29.12.26	原告解放同盟	原告解放同盟が裁判の内容についてインターネットで発信していること
乙254	藤川正樹 陳述書 _ 「全国部落調査」復刻版 出版差し止め事件裁判	写し	H29.12.26	原告解放同盟	
乙255	部落解放同盟中央執行副委員長 片岡明幸 陳述書 _ 「全国部落調査」復刻版 出版差し止め事件裁判	写し	H29.12.26	原告解放同盟	
乙256	部落解放同盟東京都連合会国立支部長 宮瀧順子 陳述書 _ 「全国部落調査」復刻版 出版差し止め事件裁判	写し	H29.12.26	原告解放同盟	
乙257	天保国絵図_播磨	写し	天保6-9	江戸幕府	歴史文書に部落の記述は珍しくないこと及び、仙正は皮田村との扱いを撤廃されたこと
乙258	太政類典・外編・明治四年～明治十年・地方二・地方二	写し	M4.11.8	大蔵省	
乙259	糾弾会の正当性を主張	写し	H17,12,26	原告解放同盟	山端忠義氏が解放同盟三重県連の役員であることは解放同盟のウェブサイトを確認できること
乙260	2012年版三重県名張市下比奈知	写し	H23	被告宮部	山端忠義

	の電話帳			(NTT 西日本電話帳をもとに作成)	氏の住所は電話帳で分かること
乙261	当事者一覧	写し	H30.2.24	被告宮部	原告のほとんどについて、解放同盟関係者であることはウェブ上の情報で公開され、住所電話番号も電話帳で確認できる状態にあったこと
乙262	平27(ネ)3176号損害賠償請求控訴事件判決	写し	H28.11.16	大阪高等裁判所	自ら同和地区で育ったと公言していた者について、同和地区出身との事実を摘示したことへの賠償を否定した例があること
乙263	雑種賤民 - Wikipedia	写し	H30.2.24	ウィキメディア財団	雑種賤民は学術用語である

					こと
乙264	明日を拓く第一〇五号 2014年3月	写し	H26.3	東日本部落解放研究所	原告松島幸洋の解放同盟での役職はインターネットで公開されていること
乙265	込皆戸の歴史と生活	写し	H6.1.20	東日本部落解放研究所	込皆戸の部落については原告松島幸洋が関与する団体が出版物で公表したこと
乙266	部落探訪(54)群馬県前橋市粕川町込皆戸(前編)	写し	H30.1.12	被告宮部	込皆戸で直接確認
乙267	部落探訪(54)群馬県前橋市粕川町込皆戸(後編)	写し	H30.1.17	被告宮部	すると原告松島幸洋の陳述とは異なる事柄があること
乙268	込皆戸住宅地図	写し	H30.1.15	ゼンリン	「込皆戸の歴史と生活」にある坂本姓が集中した場所は住宅地図で容易に確認でき

					ること
乙269	部落解放の大道切り拓く 部落解放同盟第60回全国大会	写し	H15.5.19	原告解放同盟	原告高橋康雄が解放同盟関係者であることはインターネットで公開されていたこと
乙270	第5章 同和教育	写し	H30.2.17	飯山市	飯山市静
乙271	いいやま人権福祉センター条例	写し	H18.3.27	飯山市	間に同和地区があることは飯山市のウェブサイトを確認できること
乙272	三重県人権施策審議会委員名簿	写し	H29.10.2	三重県	原告松岡克己の解放同盟での役職は三重県のウェブサイトを確認できること
乙273	被差別部落に生きる	写し	S58.6.15	松井久吉	松井久吉の出身地が伊賀市八幡町の部落であることは出版物か

					ら分かる こと
乙274	八幡町市民館	写し	H29.1.26	伊賀市	伊賀市八幡町に同和地区があることは伊賀市のウェブサイトを確認できること
乙275	2007年版三重県伊賀市八幡町の電話帳	写し	H19	被告宮部 (NTT西日本電話帳をもとに作成)	伊賀市八幡町に解放同盟の支部があることは電話帳で確認できること
乙276	三重県部落史料集近代篇	写し	S49.12.15	三重県厚生会	三重県内の部落の一覧が出版されていたこと
乙277	もてる力を持ち寄ってつくる 「ぬくもりのまち」	写し	H30.2.25	財団法人大阪府人権協会	原告塩谷幸子が解放同盟関係者であることは大阪府人権協会のウェブサイトを確認できること
乙278	暮らしのアンケート調査報告書	写し	H29	部落解放同	解放同盟

				盟大阪府連 合会	大阪府連 が大阪府 内の同和 地区を調 査した資 料を配布 したこと
乙279	「部落の血筋で難病」と チラシに掲示許可出す	写し	H26. 3. 17	解放新聞社	原告田村 賢一が解 放同盟の 役職者で あること はウェブ で公開さ れている こと
乙280	教科書無償闘争	写し	H30. 2. 25	原告解放同 盟	高知市長 浜・原が部 落である ことは解 放同盟が ウェブで 公開して いること
乙281	長浜南部地区の起源と歴史	写し	H26, 7, 1	部落解放同 盟長浜支部	高知市長 浜・原の光 内姓の由 来について解放同 盟支部の 出版物で 公表され ているこ と
乙282	男女共同参画センターよりん彩	写し	H30. 2. 25	鳥取県	原告下吉 真二の解

					放同盟の 役職は鳥 取県のウ ェブサイ トで公開 されてい ること
乙283	鳥取県における新部落の形成	写し	H30.10	宇田川宏	倉吉市内 に明治後 期以降に 掲載され た「新部 落」が多数 あること
乙284	別件の話題	写し	H19.1.17	不詳	倉吉市役 所内の同 和関係の 文書のあ り方を疑 問視する メールが あったこ と
乙285	三品純 陳述書	写し	H30.2.27	被告三品	被告三品 純の主張 の内容
乙286	狭山事件を考える飯塚市住民の 会結成総会と学習会	写し	H21.8.3	解放新聞社	原告安永 勝利の解 放同盟の 役職は解 放同盟の ウェブサ イトで公 開されて いること
乙287	直方市 同和施設所在地 HPに	写し	H22.12.30	西日本新聞	九州の自

	条例に番地 全文を削除 九州 2 1 自治体も				治体のウェブ例規集が事実上同和地区一覧になっていたが、解放同盟福岡府連の圧力で一部削除されたこと
乙 2 8 8	飯塚市同和対策施設条例	写し	H18. 3. 26	飯塚市	飯塚市の同和地区の一覧。